

高校美術 専門問題例

例 1 次の文は、ポスター制作について指導のねらいを説明したものである。重要とされる(1)、(2)、(3)、(4)とは何かを、言葉で答えなさい。また、(a)～(h)にあてはまる語句をア～クから選び、記号で答えなさい。(同じ記号には、同じ語句が入るものとする。)

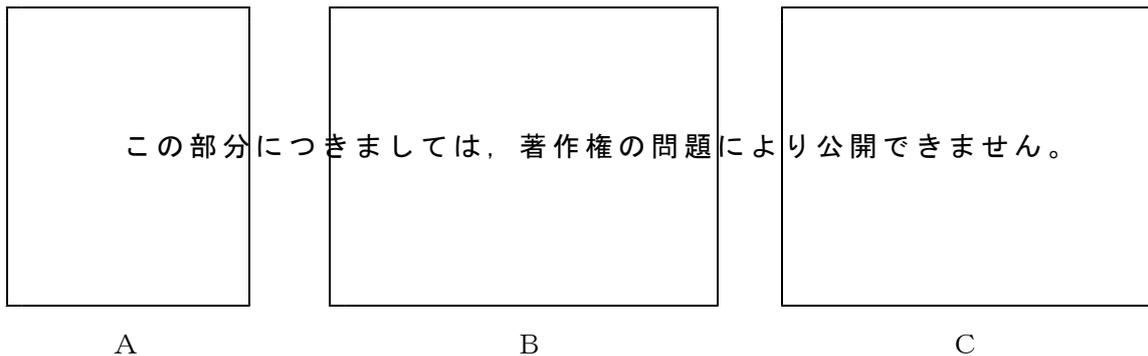
ポスターのデザインでは、(1)、(2)、(3)、(4)などが重要である。指導にあたっては、(a)や(b)を基に、テーマを豊かに伝えるポスターを表現させることの大切さを理解させたい。

アイデアを練るときには、伝えたい(c)や、伝える相手、与えられた(b)などを基に図柄やコピーなどを考えることが必要となる。また、効果的な図柄をデザインするときには、(d)して表したり、何かを(e)に用いたりするなどの工夫を盛り込むことが、創造的な表現につながっていく。コピーにおいては、(f)の内容とともに、文字の(g)や大きさ、(h)などを工夫して、ポスター制作に取り組ませたい。

| | | | |
|------|-------|------|-------|
| ア 色彩 | イ 象徴的 | ウ 目的 | エ 単純化 |
| オ 配置 | カ 言葉 | キ 内容 | ク 条件 |

(令和元年度)

例 2 次の A～C の建築物・建造物について、(1)～(3)の問いに答えなさい。



- (1) Aの建築物の名称を答えなさい。また、31歳でこの建築物の主任建築家となったのは誰か、名前を答えなさい。
- (2) Bの建造物の名称と作者名を答えなさい。
- (3) Cの建築物を設計した人物について、次の(a)～(f)にあてはまる語句をア～シから選び、記号で答えなさい。(同じ記号には、同じ語句が入るものとする。)

(a)はスイスの近代建築家で本名は、シャルル・エドゥアール・ジャンヌレといい、画家でもある。「建築は(b)のためにある」という考えのもと人体を基準にした(c)という尺度を考案した。また、都市計画、住宅建築について、石やレンガを積み上げ、装飾を施してつくる西洋の伝統的な建築に対して、(d)的で開放的な建築を提案した。

また、(d)主義を唱えて建築に関する多くの論文も国際的に評価を得た。彼は、「近代建築の5原則」として、(e)、屋上庭園、自由な平面、水平連続窓、自由な立面をもつ建築を提案した。日本では、Cの建築物である(f)を設計した。

| | | |
|-------------|--------------|------------|
| ア バルコニー | イ プロティ | ウ ル・コルビュジェ |
| エ 自由 | オ モデュロール | カ 人間 |
| キ 国立西洋美術館 | ク ユニテ・ダビタシオン | ケ 機能 |
| コ 東京国立近代美術館 | サ オーギュスト・ペレ | シ 自然 |

(令和元年度)

例 3 次の (1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、浮世絵について説明したものである。(a)～(e)にあてはまる最も適切な語句を①～⑩から選び、番号で答えなさい。(同じ記号には、同じ語句が入るものとする。)また、下線部(ア)の読みがなを書き、どのような技法か説明しなさい。

浮世絵は、江戸時代に江戸の地を中心に発達した庶民の絵である。浮世絵には直接筆で描いた(a)もあるが、安くて良質な絵を量産するために、主に木版画の技法が用いられた。

浮世絵版画は、木版で印刷した本の挿絵が墨一色摺りの(b)として独立したことに始まる。その後、(b)に丹などを用いて筆で彩色した丹絵、紅や草色など2～3色を重ねて摺る(c)、さらに技術の向上により10色以上の版を重ねた多色摺りの錦絵が制作されるようになった。

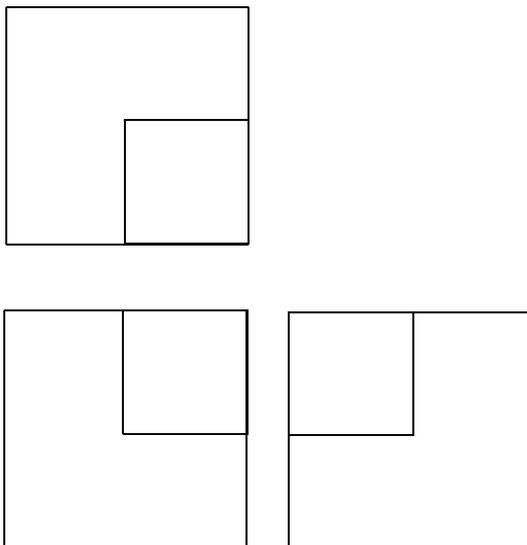
浮世絵版画は(d)が企画を立て、絵を描く絵師、色数に応じて版を彫る彫師、何種類もの版をずれないように摺り重ねる摺師の(e)によって作られた。東洲斎写楽の「三世大谷鬼次の奴江戸兵衛」には(ア)雲母摺という技法が使用されている。

| | | | | |
|-------|-------|------|--------|-------|
| ① 一枚画 | ② 炭擦絵 | ③ 主版 | ④ 共同作業 | ⑤ 判じ絵 |
| ⑥ 墨摺絵 | ⑦ 肉筆画 | ⑧ 版元 | ⑨ 個人作業 | ⑩ 紅摺絵 |

(2) 版画には様々な技法があるが、版画のもつ特性を2つ答えなさい。

(令和2年度)

例 4 次の図は、正投影図法第三角法により立体を示したものである。この立体の上面が見えるように3点透視図法で描きなさい。なお、消失点(VP)と垂直消失点(VVP)が解答欄に収まらない場合は記入しなくてよいが、消失点からの線は破線で表すこと。また、左上面を光源とする陰影を立体に付けること。



(令和2年度)

例 5 次の文はギリシャ、ローマの美術について説明したものである。(1)～(5)の問いに答えなさい。

ギリシャの地は良質の大理石に恵まれ、建築と彫刻に優れていた。ギリシャ人は人間を中心とした合理的な考え方で、精神と肉体との調和がとれた人間になることを理想とした。ギリシャの美術の歴史は年代順に(①)期、(②)期、(③)期、(④)期の4期に分けて考えることができる。

(①)期には、壺などに直線的な文様や抽象化された人物が描かれた。(②)期の彫刻を代表するアクロポリスの少女は、高い正面性と直立性、口もとの微笑が特徴的である。(③)期のパルテノン神殿は、A エンタシスの柱と水平な基壇や梁が見事に比例と調和を見せている。(④)期には、B ミロのヴィーナスがつくられた。神々は、より人間に近い姿で表され、感情や動勢、官能が大胆に表現された。

ローマの美術の特徴は、強大な国力にふさわしい大規模な建造物が多くつくられたことである。C 集会場、コロッセウム(闘技場)や凱旋門、浴場などが、(⑤)構造で建てられた。

(1) (①)～(④)にあてはまる語句をア～クから選び、記号で答えなさい。(同じ番号には、同じ語句が入るものとする。)

| | | | | | |
|---|---------|---|--------|---|--------|
| ア | ヘレニズム | イ | ビザンチン | ウ | 幾何学様式 |
| エ | 初期キリスト教 | オ | アルカイック | カ | メソポタミア |
| キ | クラシック | ク | ミケーネ | | |

(2) (⑤)にあてはまる語句を答えなさい。

(3) 下線部Aの特徴を簡単に説明しなさい。

(4) 下線部Bを収める美術館を答えなさい。また、その美術館のある国名を答えなさい。

(5) 下線部Cに使用された建築資材を3つ答えなさい。

(令和3年度)

例 6 次の文は、高等学校学習指導要領「第2章 各学科に共通する各教科」「第7節 芸術」「第2款 各科目」「第4 美術I」の「2 内容」の一部である。(a)～(h)にあてはまる語句を答えなさい。(同じ記号には、同じ語句が入るものとする。)

B 鑑賞

鑑賞に関する(a)・(b)を次のとおり育成する。

(1) 鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞

(ア) (c)なよさや美しさを感じ取り、作者の(d)や意図と創造的な(e)の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。

(イ) (f)や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の(d)や意図と創造的な(e)の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。

(ウ) 映像メディア表現の(g)や(h)などを感じ取り、作者の(d)や意図と創造的な(e)の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。

(令和3年度)